軽井沢町

令和８年 10 月 30 日

台湾へのトップセールスについて

富岡市・安中市・軽井沢町観光連携協議会として、台湾市場における認知度の向上及び誘客促進を図るため、台湾最大級の「2026 ITF 台湾国際旅行博覧会」へ出展します。併せて、２市１町の首長が現地の旅行会社、関係機関、企業等を訪問し、トップセールスを行います。

１　期　　日　　令和８年 11 月５日（木）～11 月８日（日）

２　訪 問 先　　台湾　台北市、苗栗県

３　訪 問 者　　軽井沢町長ほか町職員４名

※富岡市、安中市及び関係団体を含む訪問団は合計 14 名

４　主な内容　　（1）2026 ITF 台湾国際旅行博覧会への出展
（2）台湾の旅行会社、関係機関等へのトップセールス
（3）苗栗県の観光・鉄道遺産等の視察
※軽井沢観光協会が苗栗県三義郷（さんぎごう）と文化教育観光連携を 2019 年３月に締結している

５　主な訪問先　　・ライオントラベル（台湾最大手の旅行会社）
・台北市コンピュータ協会（台湾を代表する ICT 産業の主要団体）
・日本台湾交流協会（日本と台湾の交流窓口機関）
・コーラツアー（50 年以上の歴史を持つ台湾有数の旅行会社）
・苗栗県（鉄道遺構等で知られる台湾北西部の県）

６　訪問の目的　　・台湾市場における軽井沢町及び２市１町の認知度向上
・台湾からの誘客促進及び周遊型観光の推進
・現地旅行会社等への旅行商品の造成・販売に向けた働きかけ
・台湾との観光交流及び今後の連携可能性の調査

７　軽井沢町の主な PR 内容

軽井沢町からは、国重要文化財の旧三笠ホテルや雲場池、白糸の滝、旧軽井沢銀座通りなど、自然、歴史、文化、ショッピングを組み合わせた観光の魅力を発信します。また、富岡市の世界遺産である富岡製糸場、安中市の国重要文化財である碓氷第三橋梁（通称：めがね橋）や磯部温泉などと併せて紹介し、２市１町を巡る滞在型・周遊型観光を提案します。

８　富岡市・安中市・軽井沢町観光連携協議会について

本協議会は、富岡市、安中市及び軽井沢町が互いの風土、歴史、文化及び産業を尊重し、共通する明治遺産など、観光における魅力を高めるとともに、相互に誘客を促進するため、平成 26 年度に設立されたものです。これまで、パンフレットやノベルティの作成、リアル宝探しイベント、動画制作などの共同事業に取り組んできました。協議会として台湾を訪問するのは、2018 年以来８年ぶりとなります。

TOMIOKA
ANNAKA
KARUIZAWA
観光連携協議会

協議会ロゴマーク



左から土屋軽井沢町長・岩井安中市長・茂原富岡市長

９　訪問日程（予定）

日程	内容
11 月５日（木）	出国
11 月６日（金）	トップセールス、ITF 台湾国際旅行博覧会出展
11 月７日（土）	苗栗県視察（レールバイク、水上レジャー等）
11 月８日（日）	帰国

※訪問日程及び訪問先は、現地の都合等により変更となる場合があります。

問い合わせ
観光経済課観光商工係
TEL：0267-45-8579